

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年11月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市松本一丁目2-20
氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
公益財団法人滋賀県スポーツ協会
会長 河本 英典

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、
事業者行動計画を策定(変更)
事業者行動報告書を作成
したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	公益財団法人滋賀県スポーツ協会 会長 河本 英典
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	滋賀県大津松本一丁目2-20

1 事業者の概要

事業所の名称	滋賀県立柳が崎ヨットハーバー					
事業所の所在地	滋賀県大津市柳が崎1-2					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	0	4	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 スポーツ施設提供事業
事業の概要	スポーツ施設を提供すること					
従業員の数	5	人	操業時間	11	時間/日	
該当する事業者 の要件	☐ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☒ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	0	台
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	1	台
				照明設備	344	台
				その他	何物用昇降設備: 1 台 消防用ポンプ設備: 1 台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	6	年度	報告対象年度	年度
	終了 年度	9	年度		

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

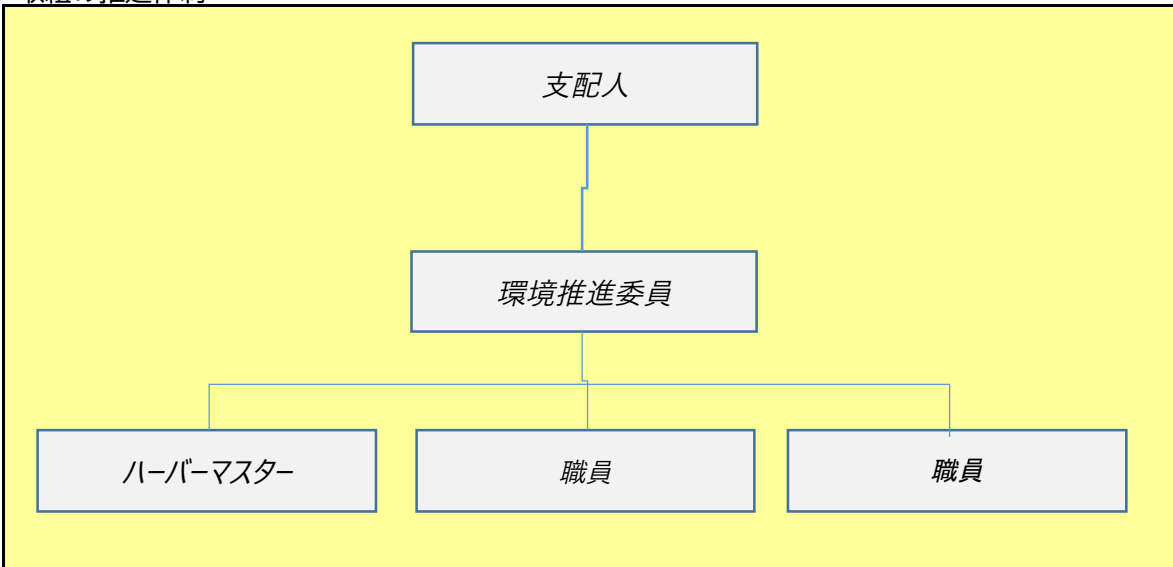
1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

スポーツを通じて県民に夢と感動を与え、県民のスポーツ活動を推進する団体として環境への取り組みを高い意識をもって進めるとともに、法令の順守や汚染の未然防止はもとより環境保全活動を定期的に見直し継続的改善に努めます。

行動指針

1. 滋賀県グリーン購入基本指針に基づく物品の調達および環境対応推奨品を優先的に使用します。
2. 水・電気機器等の適正使用を徹底し、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルの推進により、ごみの減量化に努めます。
4. 全職員が方針の周知と意識向上を図ることはもとより、環境負荷の低減あるいは行事参加者や来場者に環境活動の啓発に努めます。

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

環境活動推進に向けた体制の構築

- ・環境活動推進委員の選定

施設内設備について

- ・施設内照明のLED化
- ・施設内照明において人感センサーやタイマーの採用
- ・自動水栓の採用

その他の取り組み

- ・照明機器の照度管理
- ・施設利用者に対する、節水節電のお願い・掲示
- ・クールビズやウォームビズによる冷暖房機器の使用量削減
- ・コピー機において、裏紙印刷・2アップ印刷の励行

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	職員間で節電の意識を共有し、共用施設において節電に関する掲示物等により、施設利用者にも節電を呼びかける	2024~2027	
2	運用改善	6~10月の期間においてはクールビズを推奨し、冷房機器の適正温度の励行に取り組む	2024~2027	
3	設備導入	設備内照明のLED化	2024~2025	
4	設備導入	第2艇庫屋上に太陽光発電システムを設置	2024~	
5				

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1		非該当	非該当	
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方		目標の進捗に対する自己評価
2019年度を基準値とし、2024年度から ・二酸化炭素排出量(t-CO ₂)毎年0.5%削減 ・中間買電、夜間買電について毎年0.5%削減 ・2027年の報告において基準値に対し燃料・電気の使用量2%を削減する。		

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	9					
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	12					
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	12					
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0					
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	環境貢献の目安: 二酸化炭素削減効果 2.4T-CO2/年(二酸化炭素換算)	2025～	
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	3年後(2027年)の予想発電電力量: 6, 000kwh
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	10 kW	水力・小水力	0 kW	地熱	0 kW
太陽熱	0 kW	バイオマス	0 kW	その他 ()	0 kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	実績なし				

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	() 年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	6,000	6,000	6,000	N/A
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	6,000	6,000	6,000	N/A

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	非該当					
【調整後排出係数】	kg-CO ₂ /kWh	非該当					
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
グリーン証書の購入	t-CO ₂	非該当					
クレジットの購入	t-CO ₂	非該当					
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	
1	非該当	非該当	非該当	
2				
3				

(4) 業務で使用する車両の脱炭素化の取組

		計画開始年度 前年度の 保有台数	実績報告				
			()年	()年	()年	()年	()年
保有車両の数	台	非該当					
上記のうち 次世代自動車の数	台	非該当					
特記事項							

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施スケジュール	
1	グリーン購入	FSC認証製品購入促進	随時	実践中
2	その他	職員会議における環境活動への基盤教育実施	年1回	実践中
3				
4				
5				